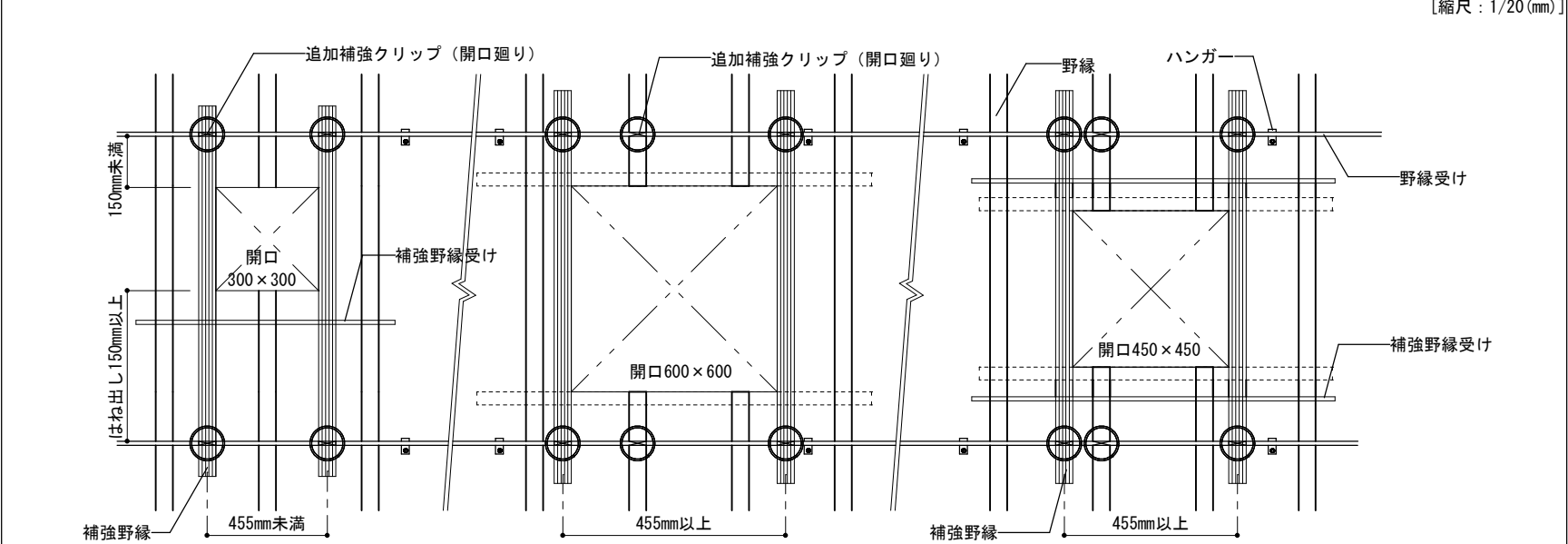


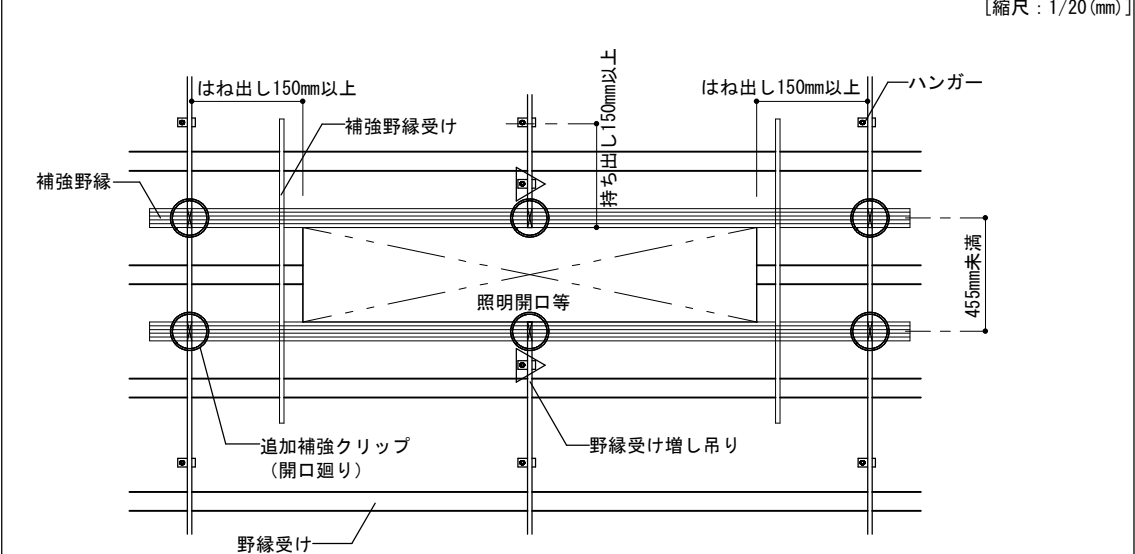
□野縁が切断される場合



【施工時注意事項】

- ・野縁の切断部が、野縁受けから150mm以上はね出す場合は補強野縁受けを設置する。
- ・開口部廻りの野縁受けを、補強野縁を追加する。（野縁と同材）  
その際、補強クリップ止めとする。
- ・追加野縁の間隔が450mm以上の場合は、450mm以内ごとに補強クリップ止めを行う。
- ・設備との間に必ずクリアランスを設ける。（天井変位及び設備機器の変位等を考慮する）

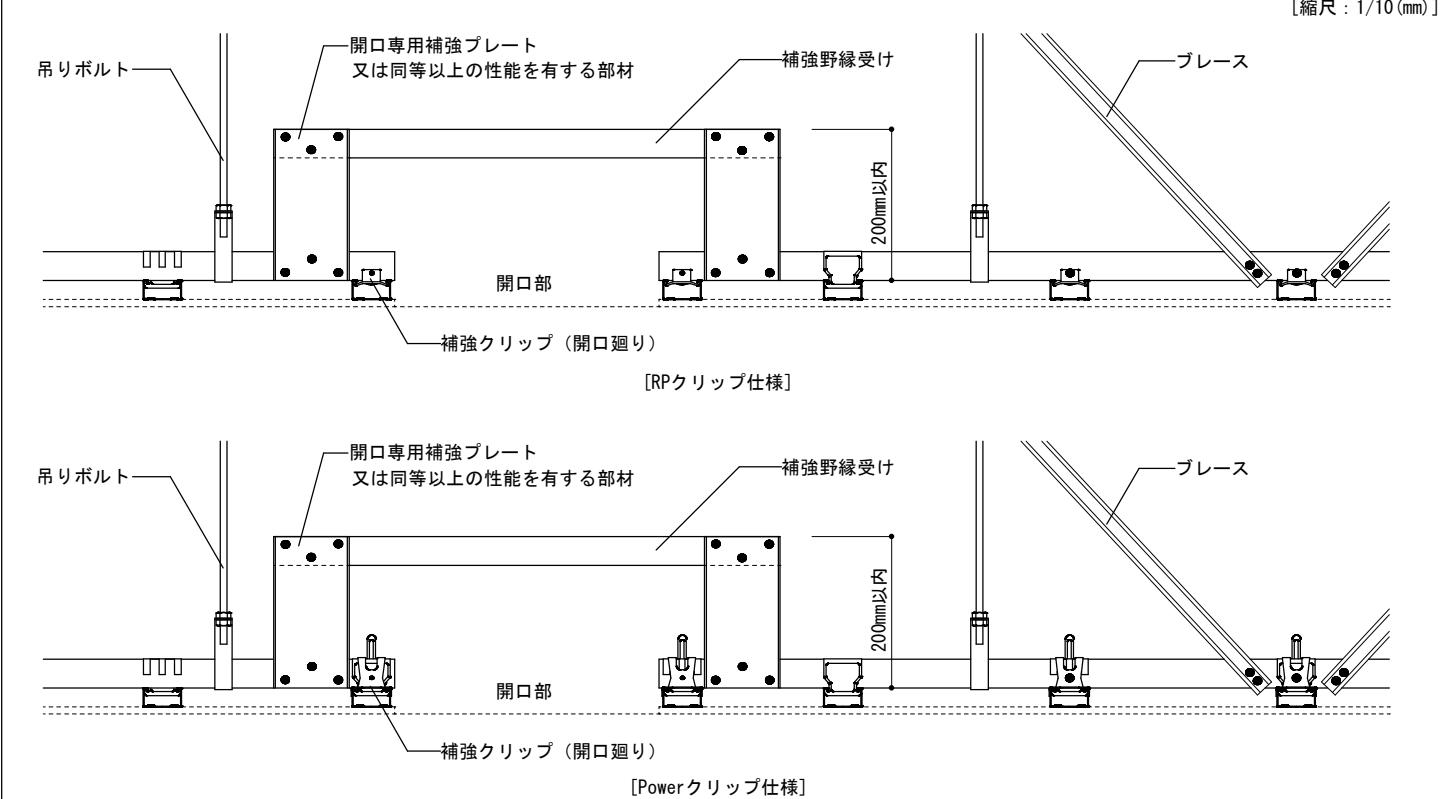
□野縁受けが切断される場合



【施工時注意事項】

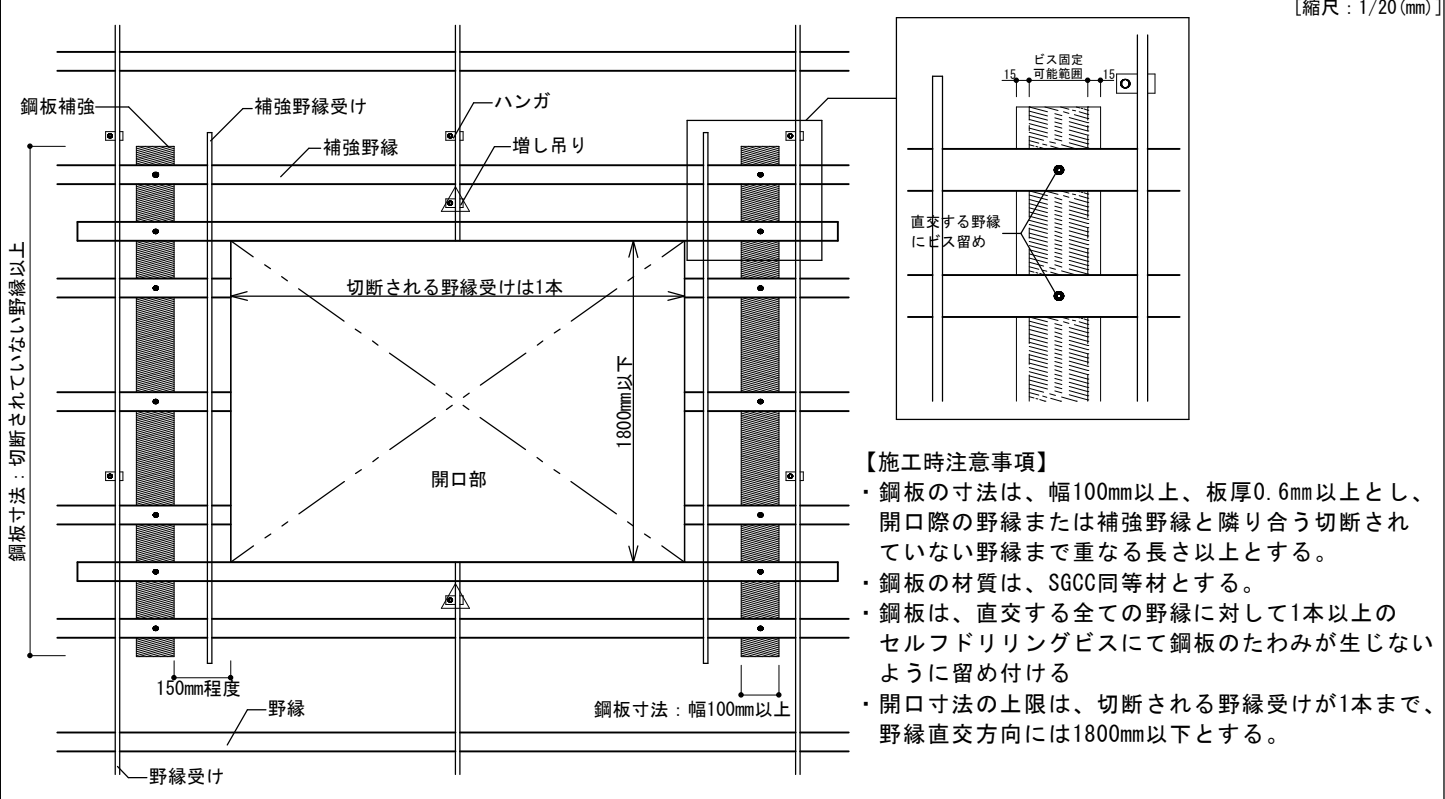
- ・野縁受けの切断部が、ハンガーから150mm以上持ち出る場合、増し吊りを行う。  
（開口部が広く、吊りボルトのピッチが900mm以上となる場合も増し吊りを行う。）
- ・開口部廻りの野縁受けを、補強野縁を追加する。（野縁と同材）  
その際、補強クリップ止めとする。
- ・設備との間に必ずクリアランスを設ける。  
（天井変位及び設備機器の変位等を考慮する）

□ブレースが設置されている野縁受けが切断される場合 門型補強



※基本的に野縁受け切断箇所にはブレースを設置しないこと

□ブレースが設置されている野縁受けが切断される場合 鋼板補強



※基本的に野縁受け切断箇所にはブレースを設置しないこと

訂正	2015. 11. 01	
	2020. 04. 01	Powerクリップ仕様の追加、レイアウト変更
	2023. 01. 05	開口補強 鋼板仕様の追加



工事名称 *			図面名称 設備回避図		日付 *
検図 *	設計 *	製図 *	縮尺 1/10, 1/20	【A3】 備考	図番 *

商品等改良の為、予告無く規格その他を変更することがありますのでご了承ください。